

世界における代表的核融合装置

T-10 (露-クルチャトフ研)
 TUMAN-3 (露-ヨッフエ研)
 AMBAL-M (露-ノボシビルスク研)

JT-60, JFT-2M (原研)
 TRIAM-1M (九大)
 ヘリカル装置LHD (核科研)
 GAMMA-10 (筑波大)
 TPE-RX (電総研)
 激光XII号 (阪大)

Alcator C-Mod (米-MIT)
 NSTX (米-プリンストン大学)
 MST (米-ウィスコンシン大)
 OMEGA (米-ロチェスター大)

JET (EU-JET共同体)
 Tore-Supra (仏-カダラッシュ研)
 ASDEX-U (独-マックスプランク研)
 TEXTOR (独, ユーリッヒ研)
 FT-U (伊-フラスカッティ研)
 MAST (英-カラム研)
 W VII-AS, -X (独-マックスプランク研)
 TJ-2 (スペイン-エネルギー環境技研)
 RFX (伊-パドヴァ大)
 LMJ (仏-CEA)

KSTAR (韓-基礎科学研)

DIII-D (米-GA社)
 NIF (米-ローレンスリバモア研)

HL-1M, HL-2A (中-西南物理研)
 HT-7, HT-7U (中-プラズマ物理研)

トカマク
 ステラレータ
 ミラー
 逆磁場ピンチ
 レーザー

出典：原子力委員会核融合会議開発戦略検討分科会
 「核融合エネルギーの技術的実現性 計画の拡がりと裾野としての基礎研究に関する報告書」
 (平成17年5月17日)